

横

拠点名 | 関西大学横町スタジオ

事務局：横町編集部 〒912-0051 福井県大野市日吉町1-7

✉ yokomachi.hensyubu@gmail.com



ONOYOKOMACHISTUDIO
横町編集部 Instagram

福井県の北部にある大野市の中心部、「横町スタジオ」は、2017年設立の最も新しい地域拠点です。「ソフトとハードが連動する仕組みづくり」を目標に、毎朝のラジオ体操やソーシャルコンポ
ストの運営、9つのサークル活動を通して、ヒト・モノ・コトを繋げています。横町スタジオが大切にしているスタイルとは？
拠点運営を担う「横町編集部」の代表、三浦紋人さんに教えていただきました。

福井県大野市

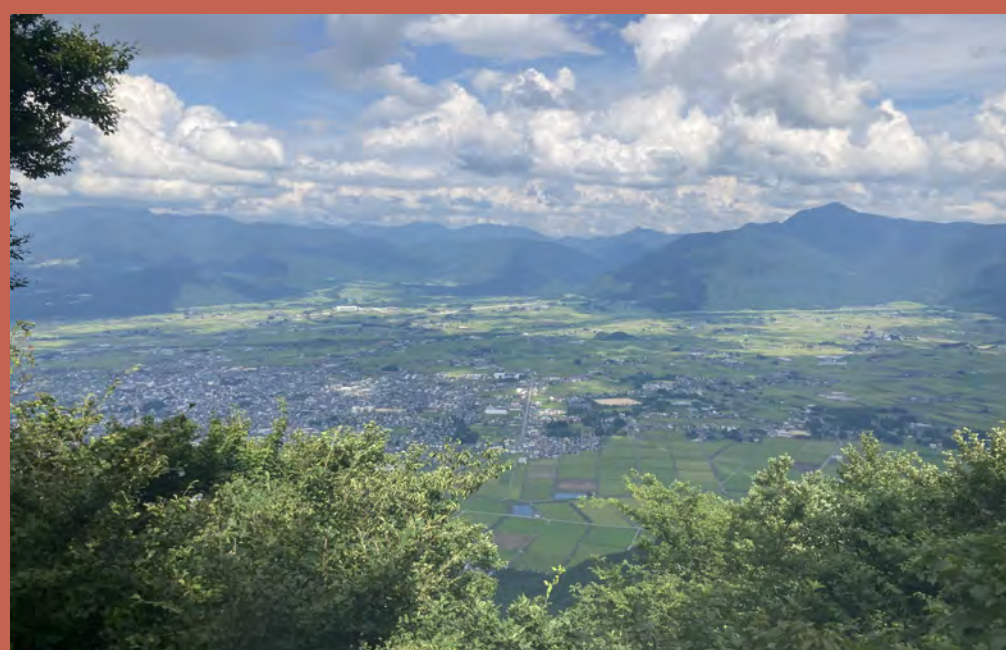
阪急関大前駅から大阪駅経由で福井駅へ。
福井駅からJR九頭竜線もしくは京福バスに乗り換えて
越前大野駅から徒歩8分。



三浦紋人
Mond Miura

1994年生まれ。福岡県出身。横町スタジオには立ち上げから関わる。大学院修了後はチリの建築事務所に就職予定だったが、コロナ禍で渡航できなくなり、横町編集部の代表と、大野市地域おこし協力隊を兼務することに。現在はソーシャルコンポストの研究に力を入れている。趣味は散歩。

“練習試合”ができる地域拠点。
社会に価値を生み出す難しさとやりがいを実感してみない？



豪雪地帯の南国!? 水の豊かな城下町の外れにある通り

福井県の北部に位置する大野市は、日本でもっとも南*1にある特別豪雪地帯に指定されるまちです。特徴的な地形が豊富な水資源をもたらしたため、醤油や酒蔵がたくさんあります。「横町スタジオ」は、越前大野城のお膝元、基盤の目状に整備された城下町の一番外側にあります。住所は日吉町ですが、ここに住む方は目の前を通る「横町通り」という通りの名称に誇りを持っていることから、「横町スタジオ」と名付けました。かつては商店街として賑わっていたそうで、間口の広い建物が連なる昔ながらの商店街の雰囲気があります。

*1: 全国の特別豪雪地帯のうち、市町村単位で指定される地域の中で最南端。

Field

Point 1. 学生もOK、地域住民もOK 誰でも拠点運営に関われる柔軟な仕組み

2019年に「横町編集部」という任意団体を立ち上げたことで、柔軟な活動ができるようになりました。「ワークショップ部」や「持ち寄り部」のような学生主体のプロジェクトはもちろん、大野で会社を経営する社長に取材をし、地元の産業について研究をする「Top Interview」においては、地元の編集者が主体となっているプロジェクトです。横町編集部の仕事や研究をどんどん個人に分配できる仕組みなので、大野まではるばるやってきた学生たちにも対価を払って仕事をお願いしています。この仕組みのおかげで僕は
大野市地域おこし協力隊の仕事や個人事業をしながら横町スタジオでの研究活動も続けられています。



Point 2. 容赦なし!! 企画作りは社会の練習試合

学生には社会に価値を生み出す経験をしてもらいたいです。だからボランティアで仕事をさせませんし、学生からアイデアが出てきたときは、最初から最後まで自分で企画を組み立ててもらいます。今大野に来ている学生は、「大野は練習試合に来ている感覚です」と言っていました。自分の得意不得意が浮き彫りになるのは苦しいけれどやりがいがある

あるそうです。自主性に任せる一方で、経費が予想する成果に見合っているかどうか、プロジェクトの精度はシビアにチェックしています。人のお金を使って社会が期待する成果を出すことを若いうちに学んでほしい。事業費が足りなくても、持ち出しは禁止。自分で補助金を申請したり、売上を作ったりと、ヒト・モノ・カネの使い方を自分で工夫する感覚を養ってもらっています。大学の授業では経験できないことなので、社会に出てからもきっと役に立つ経験になると思いますよ。



GO! 関西大学横町スタジオへ行きたい!

まずは“やりたいこと”を教えて!

横町スタジオでは少数精鋭で小回りが効くプロジェクトを複数実施中です。興味を持っていただいた方は、「大野に関わりたい理由」や、「自分のやりたいこと」など、テーマも形式（ポートフォリオや企画書なんでもOK!）も自由で構いません。いただいた内容をもとに一度お話をしましょう!